

真のデモクラシーを



小島ブンゴード孝子
学習院大学英文科卒業。1973年デンマーク人ブンゴードと結婚。長年にわたり医療・福祉・教育・女性ノ

労働問題などをテーマに日本人向けの研修を企画。本紙にも様々な形で協力。主な著書に『デンマークの女性が輝いているわけ』『デンマークにみる普及型のデモクラシー』(2023年6月)がある。共著。

「本紙」5面に、2022年4月から23年3月まで「デンマークからこんにちは」連載していた小島ブンゴード孝子さんが、11月に来日。新社会党本部にご本人をお招きし、全国をオンラインで結んでお話を聞きましした。参加者から出された沢山の質問も合わせて、紹介します。

ブンゴードさんのお話

デモクラシーって？

50年間デンマークに暮らしたブンゴードは、社会福祉や医療、教育、女性、家族などを紹介してきましたが、気づいたことは、全ての分野の根底にデモクラシーが流れており、日本とは違うということです。

デンマークには多数決ではないデモクラシーがあります。多数決もひとつの方法ですが、全てではありません。デンマークのある人は「多数決は暴力だ。いかに少数派の意

見を社会に反映させることができるか、そのプロセスがデモクラシーだ」といいます。デンマークの福祉や医療制度の理解には、このデンマーク的なデモクラシーを理解していただくことが必要だと思いました。

人こそ資源

デンマークの人々の共通認識は「人こそ資源」。人という資源が自分たちの国をより良くしていく力だから、その資源を育てることこそ教育は、誰でも学びたいものが学べる何よ

り大事な公共サービスであり、最大の投資であるとの位置付けです。男女ともに学び、労働者として働き社会を支えます。ただ働けばよいというわけではありません。賃金などの労働条件だけでなく、労働環境が悪ければ、各自の資質をフルに発揮できない。それは人という資源を無駄遣いしていることです。そのためデンマークでは、全ての労働分野で労働環境に留意しています。

また、赤ちゃんからお年寄りまで不安を抱えず年をとっても最後まで生活できる、これが本当の意味での福祉国家だと思っております。税金は高いでも、国民は高い負担に耐えられるのかと質問されます。所得税は平均45%、消費税は教育活動を除く全ての商品とサービスに25%。私たちは税金という重い負担を抱えています。教育、医療は基本的に無料、どんな重病で入院しても個人の負担はありません(薬は一部個人負担)。福祉も生活の部分で自分で賄い

ますが、コアの介護は、市と国が出しますが、現在の社会保障分野の支出増が課題です。デンマークでは子ども

税金は高いでも…

国民は高い負担に耐えられるのかと質問されます。所得税は平均45%、消費税は教育活動を除く全ての商品とサービスに25%。私たちは税金という重い負担を抱えています。教育、医療は基本的に無料、どんな重病で入院しても個人の負担はありません(薬は一部個人負担)。福祉も生活の部分で自分で賄い

ます。コアの介護は、市と国が出しますが、現在の社会保障分野の支出増が課題です。デンマークでは子ども

ですが、コアの介護は、市と国が出しますが、現在の社会保障分野の支出増が課題です。デンマークでは子ども

質問

高い投票率を支えているのは？

国民学校(小中一貫)では、最高執行機関として学校理事会があります。保護者代表、教職員代表、地域の代表も入りますが、学校の主役は生徒です。当然生徒代表も入ります。

中学生を対象とした疑似選挙もおこなわれていますし、地方自治体の約半数は、子ども市議会を持つています。

中学生の子どもたちが自分の考えを明らかにして立候補し、当選すると子ども市議会議員になります。年に4回ほどさまざまなことを話し合い、決まったことを大人の本物の市議会に提案しますが、そこで採択されることもあります。

それらを通して選挙とは、政治とはどういうものかを小中学生時代から体験しています。選挙権、被選挙権共に18歳以上で、これまでで一番若い国会議員当選者は、19歳でした。政治を信頼はしてい

るが、「どうでもよい」などと任せているわけではないわけではありません。選挙活動が始まると、各地でデイスカッション、ディベートがこなわれ、候補者や政党が主張することに對して、市民が質問し意見を述べ合います。

高い負担の税金が、ちゃんと必要とところで回っているか、それを市民はウォッチし、政治家も明らかにします。そこに信頼が生まれ、投票率の高さに繋がっています。

暮らしの中にこそ

日本とデンマークの子育ての違いがありますか？

子どもへの親の想いはどの国でも同じでしょう。どうしようもない親もいないわけではないかもしれませんが、その意味ではデンマークから特別なことはあります。デンマークでは女性も皆働きま

るが、「どうでもよい」などと任せているわけではないわけではありません。選挙活動が始まると、各地でデイスカッション、ディベートがこなわれ、候補者や政党が主張することに對して、市民が質問し意見を述べ合います。

あります。ただ、生きていく基本的なこと(教育・医療・福祉)は公共で運営され、その場その場でお金を払う必要がありません。皆が収入に応じて税金を出して支えています。

納税のために生活が破綻することはない、年金は、ほとんどの人が働いているので、国民年金だけという人は極めて少ないです。

10年9年生の義務教育期間に社会の中で生きていく基本力をつけ、さらにその上の教育機関で資格教育を受け、卒業したらやりたい仕事を見つけて働きます。子育ては家族の責任とされ、一流の大学を出て、一流の会社に入れば安泰という日本とは少し違うのではないのでしょうか。

5面につづく

ジェンダー川柳

本紙5面(隔週)を担当する「女性編集委員会」のメンバーが、初挑戦。生活の中で感じたことなどを句にしてみました。

男からうまれてきたのオマエサン
ミスコンに心うばわれ肝なくす
北海道 乙川 洋子

民主主義組合では大声家で関白
組合で育休取得さげび俺知らん
埼玉県 荒畑 正子

染めなくて 普通になったグレイヘア
母二人これも家族のかたちです
東京都 大貫 静子

エライわねあなたがやるとなぜ褒める
昇格は女だからと後回し
東京都 狭石 啓子

4面からつづく

労働者が掛ける労働市場年金(日本の厚生年金に相当)は、労働者が負担する保険料の倍額を雇用者が負担します(1対2)。老後の生活レベルをキープするための年金確保のために、賃上げと同じように、労働者は熱を持って交渉します。

私がこれまで紹介してきたデンマークの仕組みは、デンマークの人たちが話し合い、実践し、失敗したら相談し、人を大切にして暮らせるように努力改善してきたプロセスの積み重ねなのです。

私たちの共著『普段着のデモクラシー』では、農民教育を扱ったグレントヴィー、社会民主主義政党を起したスタウニング、ナチス占領時代もデモクラシーを啓発し続けたハル・コックなどを紹介しています。デンマーク人はこれら先人たちの誇りに思い、国づくりの基本としているように思います。

『普段着のデモクラシー』小島ブングード孝子・澤渡夏代ブランド

希望の灯絶やさず

夫。自閉症などの場合だと「学校は楽しいところ」であるために、場合によっては特別な教室を用意することもありますが、その場合でも、ずっと別ではなくて、他の生徒たちと一緒に授業もありま

「デンマークでは障害は個性だととらえまれば普通の学級で大丈夫です。身体的な障害であれば普通学級で大丈夫です。就労支援は自治体が

運営するワークショップでおこないますが、その人その人の個性に応じた支援をしています。

離婚が多いのは社会保障がすすんでいるからですか？

確かに少なくありませんが、日本で聞くような、離婚したいが経済的に自立できないからしないというものはありません。デンマーク統計局によると、「家族の形」は37種類あるそうです。

離婚は、結婚している人が離婚するわけですが、デンマークは結婚せずに同棲のままの人も多くいます。婚姻届けを出しても別姓の



0学年の授業風景

人もいれば、婚姻届けをしなくても同姓を名乗る人もいてバラバラです。要するにそんなことはどうでもよく、本人たちが決めることです。

それでも子どもが生きていけるからですよね？

そうです。親の離婚によって明日の暮らしに困るような社会ではありません。日本では子どもの居場所、子ども食堂を作った支えようとボランティアの皆さんも一生懸命取り組んでおられますね。気持ちにはわかりますが、果たしてそれはボランティアのする仕事でしょうか。

非正規労働者の待遇はどうですか？

非正規労働者はアルバイト学生ぐらいで、フルタイムも短時間のパートも、デンマークでは全て正規労働者です。子育てなどで37時

これは国がやるべきこと、公助であるべきだと思います。自助も共助も大切ですが、国が費用節減のために自助、共助を推奨するのはおかしいと思います。

ボランティアの皆さんが、赤字を出してでも取り組んでおられる事実を聞いています。そのままだと追いついていない国の責任、政治家は怠慢ですね。

非正規労働者の待遇はどうですか？

非正規労働者はアルバイト学生ぐらいで、フルタイムも短時間のパートも、デンマークでは全て正規労働者です。子育てなどで37時間働くのはきついです。間違ったのはきついな場合は、交渉で30時間とか25時間位に短縮し、一段落したらまたフルタイムに戻る等の融通性があります。

労働時間が少ないければ賃金は減りますが、その他の労働条件は全く変わらず、年金も変わりません。そういう意味で、日本の非正規雇用は問題ありだと私は思います。

若い世代の中に変化も生まれています。普段の生活の中でデモクラシーを考えてもらいたいし、私たちはその後押しをしていく立場だと思えますので、希望は捨てません。

皆さんに伝えたいこと

デンマークとあまりにも違い無理だと思っ

私はいは今の日本は非常に問題ありきで、このままでは船が沈没するのではという危機感を持っています。でも、希望も持っています。

皆さんには、希望の灯をずっと灯し続けていただきたいのです。デモクラシーという多岐決とか政治だけのことだと思いがちですが、実は、子どもや家族との接し方や毎日の生活の中にデモクラシーがあるのではないのでしょうか。

希望のオルタナティブを

本紙に「デンマークからこんにちは」というコラムの連載があった

たことをご記憶でしょうか。小島ブングード孝子さんはデンマークを「小さくて大きい国」と紹介。「外を見て内を知る」刺激剤と述べています。

した読者の一人が当時の私。以来、北欧社会保障制度の専門書などにも挑戦。「国際結婚でデンマーク在住半世紀」というお二人の生き方に感銘。とはい

されたのは本書のおかげです。

また、デンマークの近代民主主義を理解する上で欠かせない人物の一人、ハル・コックの言説は「民主主義はシステムでも教義でもない。それはひとつの生活形式である。」と

本書は小島ブングード孝子・澤渡夏代ブランドのお二人の共著3冊目とのこと。本書で「デンマークのデモクラシーは、生活文化のよ

いうもの。これらをキーワードと押さえてつ、人びとの豊かな生活スタイルに想いを馳せて本書を読み進めるのも一考です。

本書の構成は5章からなり、第1章は「北欧の光」デンマークを照らす「光」の影響が紹介され、歴史と国民性を理解するための導入部となっています。

第2章はデンマークの「国のかたち」。デモクラシーの歩みが概説されています。

第3章はデンマークの「人のかたち」。デモクラシーの育ち方について、幼年期、義務教育など成長段階ごとの事例が紹介され、まさに目から鱗の連続です。

第4章は「生活の中のデモクラシー」。「信頼と連帯」、「対話」の大切さ、国民負担と公平さ、多様性と平等などが略説されます。そして第5章は「異文化をくらし」。お二人のアイデンティティ、デモクラシー感が披露されています。

かもがわ出版1700円



「普段着のデモクラシー」小島ブングード孝子・澤渡夏代ブランド

それに発奮

たことをご記憶でしょうか。小島ブングード孝子さんはデンマークを「小さくて大きい国」と紹介。「外を見て内を知る」刺激剤と述べています。

されたのは本書のおかげです。

また、デンマークの近代民主主義を理解する上で欠かせない人物の一人、ハル・コックの言説は「民主主義はシステムでも教義でもない。それはひとつの生活形式である。」と

本書は小島ブングード孝子・澤渡夏代ブランドのお二人の共著3冊目とのこと。本書で「デンマークのデモクラシーは、生活文化のよ

いうもの。これらをキーワードと押さえてつ、人びとの豊かな生活スタイルに想いを馳せて本書を読み進めるのも一考です。

本書の構成は5章からなり、第1章は「北欧の光」デンマークを照らす「光」の影響が紹介され、歴史と国民性を理解するための導入部となっています。

第2章はデンマークの「国のかたち」。デモクラシーの歩みが概説されています。

第3章はデンマークの「人のかたち」。デモクラシーの育ち方について、幼年期、義務教育など成長段階ごとの事例が紹介され、まさに目から鱗の連続です。

たまげたあ昔やおなごで今は女性げなジェンダーそらなんなにまだまだばい
熊本県 池田 章子

性売買男の罪はなぜ不問
兵庫県 加納 花枝

ある部分明治時代が続いてる最近の子の名はできてるジェンダーレス
熊本県 田中 梢

社会主義言ってるあなた父権主義女性枠受付司会決議文
徳島県 高開千代子

好評をいただいている「ジェンダーフリー」は6月で終了します。その後の企画として「ジェンダー川柳」コーナーを予定しています。応募方法など詳細につきましては、あらかじめお知らせいたしますので、よろしくお願いたします。